

○第2 学年修学旅行 その2 ～伊江島の歴史と人々の温かさを感じる～

6月13日(木) 沖縄修学旅行2日目、今日生徒は島親さんと過ごします。伊江島の名所を巡る姿が見られました。



城山を伊江港から望む



芳魂之塔

左は、島のシンボル「城山(ぐすくやま)」、地元の人はタッチューと呼びます。高さ172mの頂上から、360度のパノラマが広がります。291段の急な階段を登り、頂上へ出た時は格別でした。右は、「芳魂之塔」。昨日の平和講話の中でもありましたが、伊江島で亡くなった3500人の霊を弔う碑です。日本軍の基地のあった伊江島でも多くの方が亡くなりました。



ニャティヤ洞



アハシャガマ

ニャティヤ洞(千人洞) 戦時中防空壕として使用されました。右は、アハシャガマ、こちらの壕は、150人もの村民の命が集団自決により失われた場所です。



そのほかにも、断崖絶壁の連なる「湧出(ワジー)」(左) 川のない伊江島では水が大変貴重です。その水が湧き出る泉です。

(右) は、「公益質屋跡」伊江島で戦時中から残る貴重な建物です。壁や天井には弾痕や砲撃の痕が残っています。